

平成 29 年度

事業計画書
収支予算書



熊本商工会議所

基本方針

『復興元年』復興に向けた確かな一歩を、 そして成長軌道に

熊本地震から1年が経過しようとしており、今後は、20、30年後の政令市熊本にふさわしい「創造的復興」に向けた全く新しい視点から産学官が英知を結集し、熊本の地理的優位性を最大限に活かした「経済」「社会」「環境」「観光」づくりに取り組む必要がある。その為には、復興需要があるこの2、3年のうちに安定的な成長軌道に乗せることが重要となり、その初年として平成29年度を“復興元年”と位置付け、下記の戦略のもと、各事業を展開していく。

1 企業の復興に寄り添う伴走型の経営支援の強化

- (1) 企業への経営支援の強化
- (2) 企業の販路開拓・海外展開の支援
- (3) BCP（事業継続計画）の策定支援

2 中小・小規模企業の再興と地域の活力推進

- (1) 人材の育成と人手不足への対応
- (2) 農商工連携の推進
- (3) 健康経営に関する研究・検討・啓発
- (4) 福岡商工会議所との連携強化
- (5) 会員の増強

3 30年後の熊本の将来像を描くランドデザインの策定

- (1) 熊本市中心市街地ランドデザインの策定
- (2) 九州の交流拠点都市に相応しい都市機能とまちづくりの研究
- (3) 魅力あるまちづくりの推進

4 インフラと阿蘇をはじめとする観光地の早期復旧に向けた対応と インバウンド対応の推進

- (1) 地域間連携促進による観光戦略の実施
- (2) インバウンドへの受け入れ態勢の早急な整備

5 熊本城を復興のシンボルに 2019年までの熊本城天守閣の再建に向けた支援

- (1) 熊本城復興支援金募集活動の促進

6 組織基盤の強化

- (1) 各種提言・要望活動の強化
- (2) 連携強化
- (3) 会議所活動の見える化推進
- (4) 組織体制強化

『復興元年』復興に向けた確かな一歩を、そして成長軌道に

重点テーマとその主要事業

1 企業の復興に寄り添う伴走型の経営支援の強化

商工会議所が持つ機能・ノウハウ、関係機関とのネットワークを十分に活かし、環境変化に対応できる小規模事業者の経営力強化に向けて、認定された経営発達支援計画に基づき、経営革新・事業引継、創業等の支援に積極的に取り組む。また、熊本地震からの早期復興に向けた販路開拓支援をはじめ、経済社会環境のグローバル化に伴う中小企業のさらなる成長実現のため、会員企業の国際展開や海外との経済・ビジネス交流等、グローバル対応力強化のための国際化対策推進を図る。

(1) 企業への経営支援の強化

- ① 創業支援の推進
- ② 経営革新および経営力向上計画の策定推進
- ③ 経営力強化のための各種講演会、セミナーの拡充及び専門家の積極的活用
- ④ 中小企業再生支援の拡充
- ⑤ 事業引継に関する支援の拡充
- ⑥ 各種助成金の積極的活用と推進
- ⑦ 消費税軽減税率対応に向けた相談窓口の設置及びセミナー等による周知
- ⑧ 会員企業訪問の実施
- ⑨ 経営支援強化のための各種調査の実施

(2) 企業の販路開拓・海外展開の支援

- ① 「くまもと食の魅力発信！商談会」の実施（東京商工会議所と連携）
- ② 「九州食の展示商談会」等への企業参画の推進
- ③ 「熊本復興！肥後逸品ワールドチャレンジ事業」等海外展示商談会の実施
- ④ 海外ビジネス支援窓口の機能強化（ジェトロ熊本との連携の促進等）

(3) BCP（事業継続計画）の策定支援

2 中小・小規模企業の再興と地域の活力推進

人口減少や高齢化など構造的要因による人材不足が慢性化している中、外国人の雇用も含めた産業人材の育成や、労働生産性向上・従業員の意欲向上などを目的とした健康経営の導入に向けた研究・検討・啓発に取り組むとともに、福岡経済界との連携強化、農商工連携等の産業振興、実感できる会員サービスの充実・提供による会員増強の展開に取り組む。

(1) 人材の育成と人手不足への対応

- ① 労働力人口減少の抑制とグローバル化等に対応する人材の育成
- ② 中小企業振興に係る表彰制度の検討
- ③ 各種検定試験の推進（簿記、販売士、ビジネスマネジャー、ビジネス実務法務等）
- ④ 優秀な人材確保に向けた地元企業の魅力発信(大学・高校との連携による面接会等の実施)
- ⑤ ブライト企業の認定促進
- ⑥ 外国人の雇用に関する研究・啓発
- ⑦ 外国人労働力の受入れ促進
- ⑧ 人手不足への対応としての I o T ・ A I の研究・啓発

(2) 農商工連携の推進

(3) 健康経営に関する研究・検討・啓発

- ① 関係団体と連携した健康経営の普及・推進

(4) 福岡商工会議所との連携強化

- ① スポーツなどを通じた福岡経済界との連携強化

(5) 会員の増強

- ① 会員増強運動の実施(会議所活動の見える化推進)
- ② 会員優待サービスの充実と新規事業の研究開発
- ③ 共済・保険制度への加入促進と福利厚生の実施
- ④ 共済還元事業の実施
- ⑤ 商工会議所の活用促進に向けた各種交流会の実施

3 30年後の熊本の将来像を描くグランドデザインの策定

交流人口の誘導・拡大や都市ブランドの確立強化等を目的とした熊本市中心市街地グランドデザインを策定し、30年後の熊本の将来像を描くとともに、中心市街地における『桜町再開発事業、熊本駅周辺整備事業、下通NSビル』のビッグプロジェクトを第3の成長エンジンと位置づけ、地域発展のけん引力として機能させるため、商店街や関係機関と連携し、各種事業や研究に積極的に取り組み、魅力溢れた広域的交流拠点都市の実現を目指す。

(1) 熊本市中心市街地グランドデザインの策定

(2) 九州の交流拠点都市に相応しい都市機能とまちづくりの研究

- ① 熊本駅周辺整備、桜町再開発の推進
- ② 中心市街地活性化事業・商店街振興等の検証・研究
(中心市街地の魅力と賑わい創出、コンパクトシティ実現)

(3) 魅力あるまちづくりの推進

- ① 中心商店街等との協働による各種イベントの実施や魅力づくり支援
- ② 行政・民間団体が取り組むイベントへの協賛・協力
- ③ 熊本市中心市街地活性化協議会及び株式会社まちづくり熊本への協力

4 インフラと阿蘇をはじめとする観光地の早期復旧に向けた対応とインバウンド対応の推進

九州内の商工会議所や各団体との連携による観光戦略の推進と熊本の強みを活かしたインバウンド観光需要を取り込むための対策に取り組む。

(1) 地域間連携促進による観光戦略の推進

- ① 観光振興に向けた九州内の商工会議所、行政、DMC、諸団体との連携強化
- ② おもてなし力向上の推進（熊本・観光文化検定等の実施）

(2) インバウンドの受け入れ態勢の早急な整備

- ① 阿蘇くまもと空港国内線・国際線ターミナルビルの一体的な整備促進
- ② 免税制度の啓発および免税店拡大の推進
- ③ 外国人観光客とのコミュニケーション手段の検討

5 熊本城を復興のシンボルに 2019年までの熊本城天守閣の再建に向けた支援

熊本地震で被災した熊本城は、日本有数の文化財であるとともに国内外から多くの観光客が訪れる熊本のシンボルであり、震災復興に欠かすことのできない中核を成すものであることから、2019年に開催される国際スポーツ大会にあわせた天守閣の再建に向けた支援を実施する。

(1) 熊本城復興支援金募金活動の促進

6 組織基盤の強化

会員企業の要望・意見を集約するとともに、委員会・部会活動を推進し、地域経済の発展と中小企業振興のため、国・県・市等に対して積極的な提言・要望活動を展開する。また熊本経済界の更なる結束はもとより、商工会議所のネットワークを活かした県内外の経済団体との連携を深め、行政や大学、関係諸団体や機関等との連携・交流も強力に推進しつつ熊本の地理的ポテンシャルを活かした九州の一体的な発展と熊本経済の発展を推進する。さらに部会の活性化に向けた検討を行い、効果的な広報や積極的なPR活動をもって、商工会議所の認知度向上を目指すとともに、職員の資質向上を図る。

(1) 各種提言・要望活動の強化

- ① 各種提言・要望活動の積極的実施
- ② 委員会・部会活動を通じた課題抽出と意見集約
- ③ 会員企業からの要望・意見の集約

(2) 連携強化

- ① 熊本経済同友会等の県内経済団体や諸団体との連携強化
- ② 熊本県・熊本市・熊本大学等との連携強化
- ③ 日本商工会議所・九州商工会議所連合会・熊本県商工会議所連合会との連携強化
- ④ 女性会・青年部活動の推進

(3) 会議所活動の見える化推進

- ① 会報誌やホームページ等による会議所事業活動の発信
- ② 地元メディアを中心としたニュースリリースや懇談会等の開催

(4) 組織体制強化

- ① 商工会議所議員選挙の実施（平成29年10月）
- ② 部会再編及び活性化に関する検討
- ③ 職員の資質向上（経営支援力の強化等）に向けた研修の実施